

別記様式

議 事 録

会議の名称	平成29年度第2回岩倉市廃棄物減量等推進協議会
開催日時	平成30年3月8日(木) 午前10時から午前11時まで
開催場所	市役所7階 第1委員会室
出席者 (欠席委員・説明者)	出席委員：斎場委員、神崎委員、関戸委員、小笠原委員、 船橋委員、大矢(ひ)委員、浅田委員、伊藤委員、 岡島委員、加藤委員、加藤会長、井上委員、 大矢(伸)委員、早川委員、 欠席委員：木村委員、工藤副会長、桑島委員、碓井委員、 説明者：市民部長、環境保全課長、廃棄物グループ長、 環境グループ長、廃棄物グループ担当
会議の議題	(1) 岩倉市一般廃棄物処理計画 平成30年度実施計画(案) について (2) その他
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他()
会議に提出された 資料の名称	・岩倉市一般廃棄物処理計画平成30年度実施計画(案) (資料1)
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 あいさつ

市民部長、加藤会長よりあいさつ。

2 議事

岩倉市一般廃棄物処理計画 平成30年度実施計画（案）（資料1）について事務局より説明。委員より以下の意見が出された。

委員：「平成29年度の実施計画と比べて大幅な変更はあったのか？」

事務局：「上位計画として基本計画と推進計画があり、それに沿っているため大きな変更はない。新たな施策としては計画には詳しく記述はしていないが、雑がみのよりいっそうの資源化を目的とした雑がみ袋の配布や雑がみに関する周知・啓発の強化を予定している。」

委員：「3ページの方針3 中間処理 資源化に伴うコストの検討について平成29年度に引き続いて平成30年度も行うということによいのか？」

事務局：「平成30年度も行う。資源化には多額の資金が必要なため、コスト意識の面からも毎年必須の施策である。」

委員：「地区還元金は、資源を売り払った金額から資源化にかかったコストを差し引いた額であるのか。」

事務局：「資源を売り払った金額そのものを地区ごとで按分して地区に還元している。」

委員：「平成29年度の収集ごみ量や資源回収量などは、数値がいつでるのか？周知はしているのか？」

事務局：「数値が確定するのは平成30年度の4月～5月頃。広報で周知をしている。」

委員：「平成29年度のごみの計画量が7,664tであるのに対して、平成29年度の実績見込みは8,032tで目標を達成できていないが。」

事務局：「ごみの総量では達成できていないが、市民一人一人当たりの数値では、平成28年度は目標値に近い数値であった。上位計画の基本計画・推進計画での岩倉市の人口の推移予測に反して、現状の岩倉市の人口はやや増加傾向にあるため、ごみの総量については目標値を達成できていない。今後、さらなるごみ減量化のため、雑がみの資源化と併せて食品リサイクルについても調査・研究をしていく。」

委員：「8ページ以降の生活排水の処理について、実績値が出ていないが全て計画値なのか？」

事務局：「(1)生活排水の処理目標の平成28年度の数値については実績値となる。」

委員：「現状の数値は載せないのか？」

事務局：「検討する。」

委員：「9ページの普及啓発について、イベントを通じて周知することが効果的と考えるが、こういったイベントで何を啓発しているのか？」

事務局：「環境フェアでごみ減量化やリサイクル、地球温暖化、公害等に関して啓発している。」

委員：「ごみの総量を周知するのもいいが、ごみのコストを周知して、処理やリサイクルにどれだけお金がかかっていることを認識してもらおうと、市民のごみ減量化に対しての意識付けにつながると思う。」

委員：「ごみ減量化もいいが、集積場所の維持管理を徹底すべきと思う。」

事務局：「3ページの方針3に具体的な内容は載せてはいないが、集積場所の適正な管理という項目がある。集積場所の維持管理をする上でカラス被害が大きな問題となっているが、カラス対策として燃やすごみをプラスチック製容器包装資源より先に収集する方法を4月から行っていく。」

委員：「カラスに関連して、青色のネットより黄色のネットのほうがカラスに効果があるのか？」

事務局：「カラスは目で見て生ごみがあるかを判断するが、どちらの色も効果は同じでカラス対策に特に差はない。近紫外線を阻害する顔料入りのごみ袋については効果があるが、それがたまたま黄色であったため誤認が広がった。生ごみを新聞紙等で覆い隠して燃やすごみを出せば、カラスは中の生ごみを認識しづらくなる。」

委員：「9ページの(5)普及啓発及び計画の促進の不適切な維持管理を行う浄化槽管理者への指導について、市が担当しているのか？また、指導に従わない場合は罰則を考えているのか？」

事務局：「浄化槽の苦情等については、市の職員が対応し、適正に汲み取るよう指導することで改善されることがほとんどであり、正しく管理することを周知・啓発することに重点を置いている。罰則については現状考えていない。」

質疑終了後、岩倉市一般廃棄物処理計画 平成30年度実施計画(案)を原案のとおり承認することについて、委員から異議なしの声。本案を岩倉市一般廃棄物処理計画 平成30年度実施計画として承認。

来年度策定予定の計画について事務局より報告。平成30年度は岩倉市災害廃棄物処理計画と第5次岩倉市一般廃棄物処理計画の基本計画・推進計画・実施計画を策定する予定であり、廃棄物減量等推進協議会においては岩倉市災害廃棄物処理計画と第5次岩倉市一般廃棄物処理計画の推進計画・実施計画について協議する必要があることを報告。また、それに関連し、通常年2回の会議であるところを、平成30年度については年3回の会議(11月・2月・3月)の開催を予定していることを報告。

委員報酬の支払い日について、3月23日(金)を予定していることを報告し、平成29年度第2回岩倉市廃棄物減量等推進協議会は閉会した。